

料金別納
郵便

ゆうメール

梅光

題字は初代学院長 広津 藤吉先生



第2号



Contents

- P. 2 高等学校音楽科創立50年を迎えて
- P. 6 心に残る聖句 岡崎 郁子
ご挨拶 中田 早苗
- P. 7 恩師は^{いま}現在
- P. 8 卒業生の近況
- P.10 2023～2024年度 社員総会報告
- P.11 2023年度 会計報告／第二期社員一覧
- P.12 梅光メモリアルデー 中島共生牧師
- P.13 法人化記念講演 ご案内
- P.14 2023年度 運営費寄付者
- P.16 2024年度 第2回「会員の集い」ご案内



一般社団法人 梅光学院同窓会
〒750-8511 下関市向洋町 1-1-1
TEL:083-227-1111 Email:info@baikonet

特集

高等学校音楽科創立50年を迎えて

高等学校音楽科発足から50年を迎えました。

私立下関梅光女学院ができて大正10年頃には入学者も増して躍進期を迎え、大正12年には専攻科として英語と音楽専攻が設置されました。

1923年のことですから、梅光の音楽は100年の歴史を持っていることになります。

高等学校音楽科創立50年を迎えて、当時のおふたりの先生に登場していただきました。



今年の6月に第51回梅光学院高等学校音楽科創立記念演奏会が開かれました。音楽科設立期に音楽科主任であった高田由紀子先生(高7)にお話を伺いました。

—— 昭和47(1972)年音楽科設立の経緯についてお聞かせください。

梅光では毎朝の礼拝に始まり、クリスマス礼拝やさまざまな行事のたびに音楽に触れる機会がありました。アメリカ人のポップン先生がグランドピアノを講堂に置いてくださったり、ライダー先生はトランペットをされてましたし、戦後は音楽会などは丸山校舎の講堂で行われていました。音楽大学を目指す生徒も毎年何人もおり、ひとつのクラスに集められていましたし、教養としてピアノを習う生徒も多く、梅光には音楽科設立の環境があったと思います。

1960年代に日本楽器製造株式会社(現ヤマハ株式会社)がヤマハ音楽教室を立ち上げ、全国規模で展開しました。日本が豊かになり、一般家庭でピアノを購入したり、音楽人口が一気に増えました。その頃の子どもたちが中学生・高校生となり、音楽教育に需要が生まれていました。ピアノの先生にも憧れがあったかと思います。

当時の広津信二郎院長は教育者であると同時に事業家でもありました。時代の要請に応えるべく、短期大学、大学、大学院と学院を拡大していく中で、高校の音楽科設

立となりました。音楽の高度な専門技術と深い人間性に根差した芸術精神を養う教育を目指すことになったのです。

音楽科一期生は14人集まり、授業を展開することができました。多いときは20人以上、30人近くいたのではないのでしょうか。音楽科の卒業生は音楽教師や演奏家として、大勢の方々が下関はもちろん国内外で活躍されています。

—— 立ち上げの時にはいろいろなご苦労があったと思います。

大学卒業後、私は銀座のヤマハ音楽教室で講師をしていたのですが、広津信二郎夫人である広津慰子先生(梅14)から連絡があり、梅光の短期大学で教えるように、そして一年後には高校に音楽科を設立するからと言われたのです。

短期大学で音楽の授業を5クラス担当しながら、高校音楽科のカリキュラムを一から作らなければなりませんでした。技術の指導は外部の先生方をお願いすることにし、学科は聴音・楽典・ソルフェージュ・コールユーブンゲンなど、何をやったらいいかとても悩みました。特にソルフェージュなどは教本もなく、自分で作曲して教本を作るなど頭が痛いことばかりでしたが、音楽大学受





験に対応できるものを考え、県の文書課に提出しました。

高校音楽科設立時の音楽の専任教諭は私ひとりで、専任講師として下田（勝津）直子先生（梅28）、宝木巍先生、中山敦先生、竹内（細川）正代先生（高9）がいらっしゃいました。その後専任教諭として日高まり子先生（高20）や西村（白石）美枝子先生が来られました。年に2度の音楽科生の実技試験の時は専任教諭で採点しましたが、学内の先生方に加えてバイオリンは三木妙子先生や声楽は和田（蔦）幸子先生（高17）にもお願いしました。

音楽科生が1年生から3年生まで揃った昭和49（1974）年に下関文化会館で記念演奏会を開催しました。卒業生と在校生が演奏しましたね。満員の聴衆は、生徒たちの演奏に心からの声援と万雷の拍手を送ってくださいました。

—— 音楽科設立50年になる現在、クラシック音楽を学ぶ人が少ない現状について、今後の課題は何だとお考えでしょうか。

最大の理由は子どもの数が減っているからですが、子どもの数から考えると音楽に興味を持つ子どもの割合は増えているのではないのでしょうか。確かにクラシックを目指す人は少なく、設備投資も必要ですから、定員割れや廃校となる音楽大学も出てきています。しかし、九州大学に大学公認の「九大ピアノの会」があったり、音楽大学から一般企業に就職する人も随分増えてきたと聞きます。趣味の延長で音楽を楽しむ活躍している人はたくさんいて、世相が以前とは変わってきたのではないのでしょうか。



—— 高田先生ご自身のことについてお聞かせください。

私が生徒の時は音楽の専門授業はありませんでしたから、クラスメイトと一緒にソルフェージュの問題などを作って、出し合っていました。自分のピアノを買ってもらったのは高校2年生の時に、当時、約20万円くらいで家が一軒建つほどのものでした。それまでは朝6時に学校に行って用務員さんに校舎のカギを開けてもらい、ハーハーと息で手を温めて梅光に戦前からあったピアノを弾いていましたね。

梅光の高校に専任として勤めていた3年間は本当に寝る暇もないほど多忙でした。音楽科の業務に加えて普通科の授業、クリスマスなどの行事での指導、休日には中学音楽課程の指導、家では個人レッスンもあり、とにかく休む暇もなく自分を充電する時間が必要と感じ、退職いたしました。

退職後は東京と下関を行き来し、ピアノの個人レッスンをしていました。また、下関近郊のピアノ教室の先生方の研究機関として「下関音楽教育研究会」を発足したり、リトミックの研究をして「NPOリトミック研究センター山口支局」を開設し、幼稚園やピアノの先生方にリトミックの理念と手法を広めることに尽力しました。地方都市の音楽文化を高める意図を持って音楽プロ集団「下関音楽人の会」の設立にも協力いたしました。

興味深いお話をいろいろ聞かせていただき、ありがとうございます。88歳になられた今もピアノの個人レッスンを続けておられるなど、現役で活躍されている高田先生は若々しく、音楽への情熱にあふれていらっしゃいます。どうぞ、これからもお元気で過ごしてください。

梅光の音楽

中山 敦

私が梅光に連なるようになった経緯は、音楽の先生が前期を終えると、突然ヨーロッパ留学ということになり、後期の担当者が居なくなったことから始まります。

当時、私は下関合唱協会の常任指揮者として、下関でモーツァルト・フォーレ・ヴェルディの三大レクイエムを演奏するというプロジェクトを終えたばかりで、合唱団も充実、私も若く元気でした。合唱メンバーだった梅光学院高校事務局の黒木正一先生や会長・浅成文子氏から、「半年で良いから、半年で良いから梅光学院大学の音楽の時間を担当してくれないか」という依頼を受けました。大学どころか学校で教えるという経験の全くなかった私は固辞したのですが、「半年だから今までのキャリアで何とかなるわよ」と説得され、引き受けることにしました。

広津信二郎学院長との面接では開口一番、「梅光は機械を使わないで教育する学校です」。レコードで宗教音楽を聴いてもらうことで半年間のカリキュラムを考えていた私の下心を見透かしたように、ズバリと釘を刺されました。続けて「聖書と讃美歌。礼拝で大きな声で讃美歌が歌えることが第一」

とも言われました。

夏休みが終わり、学生とのドキドキの初対面。幸いキリスト教倫理と音楽の講義は、学院礼拝とセットのように午前中に組まれていましたから、事前に掲示された礼拝担当者名、



ウィーン楽友協会ホールにて
(高等学校音楽科海外研修旅行)

話のタイトルと聖書朗読の箇所、讃美歌の番号をもとにした学院礼拝の成立に「必死」でした。

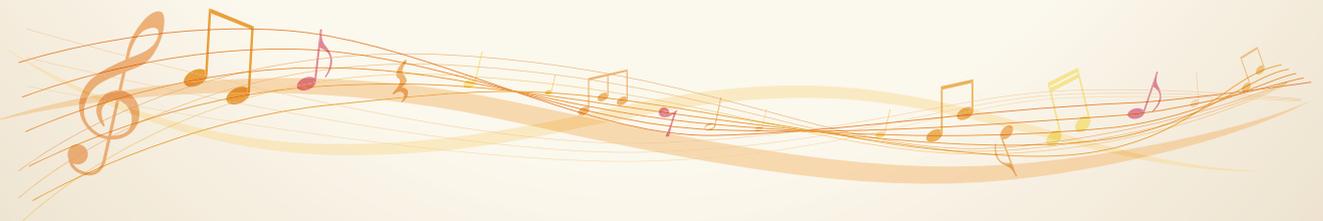
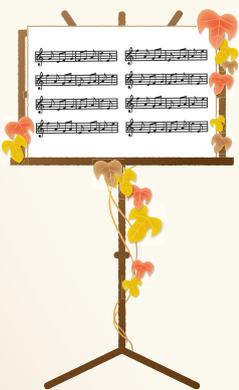
半年が終わり、次の年とも言われ、臨時採用から本採用になったのでしょうか。本人は自覚もないまま、気がつけば40年近く、前期15週、後期15週、2年で計60回分の「讃美歌史」のカリキュラム作りがスタートしたのです。

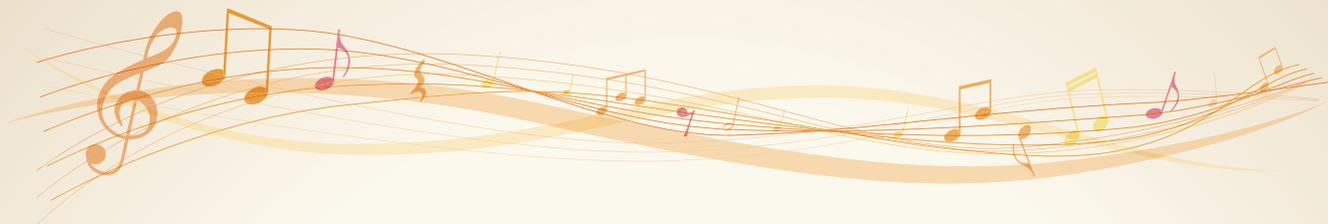
合唱に関しては年末のクリスマス礼拝でのハレルヤ・コーラス練習は大切な作業でした。

1年・2年全員参加プラス有志上級生による聖歌隊は中・高での経験者の力を借りながらの、しかし充実した時間でした。

自分のタレントが活かされる場とも感じました。

峠口先生、小川先生、安富先生、小野先生など、宗教部を通じて体験した、それぞれの信仰からくる価値観のぶつかり合いの真剣さは、一回一回のクリスマス礼拝を生きたものにするに大きな力でありました。最終的には人がしゃしゃり出ずに神におまかせということなのですが。





クラブ活動について

合唱部「セシル・コール」の創部は1974年で2年生6名、新入1年生2名、計8名でスタートしました。短大にはすでに「コール・クヴェレ」があり、合同でコンサートを持たしていただき演奏活動を確保したのです。

その後九州歯科大学「コール・エルファンバイン」、北九州市立大学男声合唱団「オルファイアコール」、九州工業大学「メンネル・コール」などの男声合唱団とのジョイントコンサートで、ヘンデル、バッハ、モーツァルト、シューベルト等混声合唱団として多くの宗教音楽を経験することができました。ありがたいことに今も「セシル・コール」はクラブ活動を許されています。

ハンドベル部「梅光学院大学ハンドベルクワイヤ」は、梅光高等学校に橋本るつ子先生が着任され、その強烈な関西弁と共にハンドベル部をスタートされ、その卒業生が大学へ入学されたことにより創部されました。1989年松本（安恒）由美さんの存在が大きかったと覚えています。以来、学院音楽礼拝、クリスマス礼拝、文化祭、訪問演奏としては幼稚園、介護施設、病院等ずいぶんと練習もし、楽しみました。学外でのボランティア活動では、自分たちのタレントが人のためになることを知るなど、メンバーの人格形成にずいぶんと力のあったことでした。「梅光のハンドベル」と地域



合唱部「セシル・コール」創部メンバーのひとり
森田美智子さん(大9日)と



「セシル・コール」&
「コール・クヴェレ」の
ジョイントコンサート

社会にも認知されたように思っています。

残念ながら現在ハンドベル部は廃部中ですが、ハンドベルの音色が学内に響く日を念じて止みません。

「コール・クヴェレ」、「セシル・コール」、九州工業大学「メンネル・コール」のOG・OBとは今も音楽をしており、今年の8月25日には、神奈川県立音楽堂で第3回目になる東京公演を持ちます。メンバーには「セシル・コール」創立メンバーの一員である鎌田（内藤）弥生さん、谷川（園田）恵子さん、それに永見昌代さん、「コール・クヴェレ」の西田聖子さんも参加しており、学生時代の出会いが今も続いていることの幸せを味わっているのです。

ハンドベル部のOG・OBは「ベル・フェリーチェ」を結成、今年の9月23日には、九州ハンドベルフェスティバルに参加します。

「梅光は機械を使わない教育」の言葉は今の機械いっぱいの中では通用しないでしょうが、私にとりましては、神よりの啓示とも思われる一言として、今もそうありたいと思っています。



ハンドベル部OG・OBグループ「ベル・フェリーチェ」



「光の子らしく歩きなさい」

(エペソ人への手紙 5章 8節)

岡崎 郁子 (高14)

完成(死)へ向かって一生懸命生きていたら、いつの間にか人生の指針となっていた私の大切な聖句です。

昭和24年、父がシベリヤから帰還し、両親が離婚。私は父のもとへ。

泣き叫ぶ私を父が抱え、母は裸足で追っかける。私の記憶はここでストップ。それ以前のことや、母の顔もわからなくなりました。ここから祖父母と父との4人の生活が始まり、子ども心に「おかあさん」と言う言葉を封印しました。笑顔もなく暗い顔に。ある日祖母に、「器量がよくないものは、笑顔なしときなさい」と言われ、それからは作り笑顔をしていました。

そんな時、小学校6年の担任の先生から梅光への進学をすすめられ、父にも話してください、梅光の生徒になりました。梅光では良い先生、良い友達と出会い、素晴らしい学びの中で楽しい学院生活を送りました。いつの間にかキリスト教精神も少しずつ私の体に入ってきて、「光の子らしく歩きなさい」が人生の指針となっています。

また、幸せは人から与えられるものではなく、自分の心の中で生まれるものだと思われ、今では子どもや孫たちに手紙を書くときは最後に「光の子らしく歩きなさい」と書いています。

※今回から、同窓生のみなさんの心に残る聖句についての想いを寄せていただく企画になりました。



ご挨拶

中田 早苗

代表理事(会長)

2024(令和6)年度より代表理事を拝命いたしました。

丸山の校舎に咲き乱れる連翹の下を教室へ向かったのは思えば半世紀も前のこと。関門海峡を見渡し、師に導かれ、友と語り明かした日々。あの日、あの時、思い描いた未来は、今、目の前にあるでしょうか。それは同窓生一人ひとり異なることでしょうか。異なる道を歩もうとも「光の子らしく歩みなさい」の教え。その梅光の精神は同窓生一人ひとりの中に息づいていると信じます。

同窓会法人化から慣れない運営に試行

錯誤の一年半が過ぎ、これからは同窓生の期待に応える法人としての体制を整えることを使命としてまいります。

問題、課題の解決への取り組みには社員をはじめ、同窓生みなさまの叡知と実践のお力添えは欠かせません。同窓会一丸となって進めるため、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

本年度は同窓生みなさまに「会員の集い」をはじめ、ご参集の機会を多く設け、相互の交流を図りたいと存じます。

お目にかかる日を鶴首してお待ち申し上げます。

恩師は現在



倉本 昭

(梅光女学院大学・梅光学院
大学文学部日本文学科教授
1997年～2023年在職)

現在、さぬき市志度にある徳島文理大学の文学部日本文学科で教鞭をとっています。校舎から屋島がくっきりと見えます。ここも源平合戦ゆかりの地。マンホールのデザインは与一の扇的的です。下関の人間ですから、文学史の講義で『平家物語』安徳入水のくだりを取り上げ、先帝祭の由来や、小泉八雲の「耳なし芳一」執筆秘話にも触れました。その夕、妻からNHKの朝ドラに八雲夫妻がとりあげられる報を得て、驚きました。

梅光では博物館学課程に関係したことから、歴史学をはじめ諸分野の視点を古典読解に応用するスキルを学び、活用しています。『宇治拾遺

物語』に、安倍晴明が内裏で邂逅したイケメン蔵人少将を、一晚抱きしめて呪詛から守る話があります。私はどうしても山崎賢人さん(映画で晴明を演じる)のような晴明をイメージしますし、学生もそうだったでしょう。ところが古記録にてらせば、道長から内裏に呼び出される頃は70代であったとおぼしく、話のイメージが変わりません。晴明が皇室の宝剣を再生した話を自慢げに語る記録等からも、ちょっと残念な晴明像を提示してみました。

今は亡き佐藤泰正先生と宮田 尚先生の御魂が、まだまだ未熟と苦笑されているでしょう。そのおふたりが、かつて梅ヶ峠から市内に向かう校用車の中で、響灘の夕陽を讃えていらっしゃいました。こちらで帰りの電車から見る、屋島のあなたに沈む夕陽も同じようにきれいです。おふたりの讃嘆の声が今も心に残っています。

はいしゃ



鈴木 博行

(中高/社会教員
1977年～2012年3月在職)

妻がよく通信販売を利用するので、すぐ段ボールの箱が溜まって、ごみ捨てる時に「大変だな」という思いをつい持ってしまうのだが、解体してまとめると思ったほどは嵩張らない。心配ごとと同様で、数々溜まると、どこから手を付けていいかわからず途方に暮れてしまうが、一つひとつ焦らず対応していくと、意外にうまく処理できる。

友人が軽トラを運転していた時、鹿が車に向かって突進して来た。避けようがなく、結局車は大破損で廃車となった。鹿だから仕方

がないでは済まされない。年金生活者にとっては痛手である。鹿を叱ろうと思ったが、逃走してしまった。でも友人はさほど落ち込まなかった。ギャグの連発でそれを乗り越えていった。

年を取ると辛いことや悲しいことが多くなり、生きるのがきつくなる。そのとき、若い時に聖書に触れたことがみなさんにとって強みになる。「明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦勞は、その日だけで十分である。」(マタイ 6:34)

生きていること、それ自体が大きな恵みである。もっと生きたいと思っても、それが叶わなかった人も多い。どうせ生きるのだったら、楽しくユーモアをもって生きましょう。

私は長く26歳と言いつけてきたが、今73歳になっている。梅光が私の青春だった。たくさん先生の生徒に助けられた。ありがとう。

鹿を廃車とかけたのだが……。

卒業生の近況



実際を見ること



日高 千晶
(大日 42・院前日 38・
後日 22)

昨年退職し、養護教諭の免許取得のため九州の大学に通い始めました。梅光で地域文化研究を専攻していた私を知っている方々からは「なぜ？」と驚かれることもあります。

梅光在学中は、恵まれた環境下で渡辺一雄先生、倉本昭先生のご指導のもと、蓋井島ふたおいの山ノ神神事うつついや内日の五年神神事、才川神社の粥占神事など、自分の学びたいことを存分に学ぶことができました。このように書くと、もう地域文化研究はやり切ったということなのかと思われてしまいそうですが、まったく興味は尽きず、独自にフィールドワークを行い研究誌への投稿・発表を

続けています。

コロナ禍では、神事の多くが中止・縮小してしまい、梅光での日々をふと懐かしく思い出すことが多くありました。それと同時に、止まってしまったようなこの時間を動かさなくてはと、自分にできることは何かを考え始めました。

歴史や文化を調べる際に重要なのは、その土地へ赴くことです。梅光で先生方から学んだのは、まず「実際を見ること」だったと思います。これは養護教諭においても必要不可欠なスキルであり、近年「多様性」という言葉がひとり歩きしている世の中において、身構えずに相手を見ることはとても大切になってきます。

今、年下の同級生たちに囲まれながら、毎日授業や実習に忙しく取り組んでいます。これまでと環境は随分と違いますが、梅光での学びがなければ、卒業後改めて養護教諭を目指す覚悟を持てなかったと感じています。

人生第二章

カフェを始めました

谷崎 真子 (短日 17)

今年4月に主人の実家をセルフリノベーションしてカフェをオープンしました。

義父義母の亡き後、足繁く通っていた家の手入れを何年もしてくれていた叔母が運転免許を返納することになり、代わりに私が自宅から車で1時間半、掃除や片付けに通っているうちに、自然豊かでのどかな風景に癒され、田んぼも畑もあるこの家で何か始められないか？と思い始めました。

3人の子育てもひと段落して、これまで



学んできた天然菌や麴を使った発酵調味料で身体の喜ぶお料理を食べてもらえる居心地

の良い場所を作りたい。カフェを開こう！となりました。

還暦を過ぎた主婦の無謀とも思える挑戦、営業許可を取得するなど知らないことばかりでしたが、家族や友人の手助けもあり、なんとか開店することができました。子どもの頃から何が得意ということもなく過ごしていましたが、今、その全てが生かされているような気がしています。

家の畑は近所の姉様たちが見るに見かねて畝を立てて野菜が取れるようにしてくださったり、店内に飾るお花やお野菜を持ってきてくださる。この町に知人のいない私に代わってチラシを配ってお店の紹介をしてくださったり、みなさんの力添えのお陰で何とか毎日を送れています。

米作りの経験のない私ですが、助けを借りながら6月には手植えでの田植えも行い

ました。無農薬無肥料の稲作に挑戦し、9月には稲刈りです。

自分ひとりではできることは少ないけれど、誰かと手を取りあえばできることや楽しいことが増えていくのを、喜びと共にしみじみと感じています。



ニューヨークでの留學生活



渡邊 奈瑠
(高70・音42)

私は今、ニューヨークにあるマンハッタン音楽院の大学院に奨学生として在籍しています。日本でずっとご指導を賜った原田幸一郎先生、母のような温かさでパワフルさを持ったルーシー・ロバート先生のレッスンを受けています。そして9月からはニューヨークフィルハーモニックの首席副コンサートマスターのシェリル・ステープル先生らのもとで勉強をします。

アメリカの学校は1年のうち5ヵ月は休みなので、その期間を利用して他国の音楽フェスティバルに参加したり、日本でコンサート活動をしています。地元山口県では主にヴァイオリン・ピアノデュオ“Duo Naru”として、梅光で出会った鳴谷菜佑子さんと年に一回ほどコンサート活動をしています。

学内オーケストラではコンサートマスターの経験をさせていただいたり、世界的に有名なヴァイオリニストのマスタークラ

スを受けたりと、たくさんの経験を積んでいます。校内には8個のパフォーマンスホールがあり、1月にはソロコンサートの機会もありました。

さまざまな文化が混ざるニューヨークに留学して一番惹かれたのがオペラです。日本にはオペラハウスがなく、あまり身近に感じることはできないオペラですが、ニューヨークにはメトロポリタン歌劇場があり、またマンハッタン音楽院では生徒だけで作るオペラ公演が年に4回あります。オペラでは歌に目、耳が行きがちですが、間奏のオーケストラの音の素晴らしさに毎回涙が溢れてきます。いつか私もそのような音の一員になれるよう、日々努力を続けていきます。



メトロポリタン歌劇場にて

社員総会報告

議事録はホームページで閲覧できます

◆ 2023年度 第3回社員総会

2024年2月18日(日)

【議案審議報告】

- 議案1 「第二期社員募集」については社員に協力を要請。
- 議案2 「同窓会奨学金制度」は就学困難となった者への奨学金とし、全中高生を対象とする。
規約の詳細を継続審議。
- 議案3 「法人化記念講演」については2025年春頃に実施することに決定。詳細を継続審議。
- 議案4 学院との「建物使用貸借契約」については、同窓会の所有権・占有権を主張していく。
- 議案5 「能登半島地震への寄付」については梅光の精神にかなったものであり、社員の賛同が得られた。

◆ 2024年度 第1回社員総会

2024年4月14日(日)

- 第一期代表理事退任あいさつ。第一期退任社員代表あいさつ。
- 第二期社員紹介。新理事会役員選出・紹介。

【議案審議報告】

- 議案1 「令和5年度行事報告・会計報告」「令和6年度行事計画・会計予算案」を承認。
- 議案2 「同窓会奨学金制度」について理事会提出の規約案を承認。
- 議案3 学院との「建物使用貸借契約」について経緯報告。
- 議案4 「法人化記念講演」の講演者について質疑・応答の後、決定。詳細を継続審議。
- 報告1 「能登半島地震への寄付」は日本キリスト教協議会を通して100万円送金済。

◆ 2024年度 第2回社員総会

2024年7月28日(日)

【議案審議報告】

- 議案1 メモリアルデーは梅光らしい行事であり、参加人数が少なくても趣旨を守り続けていくことが大切だが、日程や内容について検討していく必要がある。
- 議案2 「同窓会誌第2号」「法人化記念講演」「第2回会員の集い」についてそれぞれ進捗状況が報告、承認され、継続作業となった。
- 議案3 学院との「建物使用貸借契約」については今までの同窓会の姿勢を継続することで承認。

2023年度会計報告

2023(令和5)年度会計報告

(単位：円)

科目	2023年度予算	2024年3月末決算	差異
収入の部			
終身会費取崩し繰入収入	9,379,800	5,414,233	-3,965,567
入会金	40,000	18,000	-22,000
集いの会費	0	194,000	194,000
受取利息	1,200	1,113	-87
施設利用料	0	0	0
運営費収入	1,000,000	1,867,670	867,670
寄付金収入	50,000	0	-50,000
収入計	10,471,000	7,495,016	-2,975,984
支出の部			
消耗品費	500,000	76,543	-423,457
給与手当費	1,600,000	1,282,919	-317,081
旅費	500,000	218,520	-281,480
通信費	2,000,000	1,777,961	-222,039
印刷費	2,500,000	1,777,640	-722,360
行事・集会費	2,000,000	400,060	-1,599,940
交際慶弔費	200,000	44,320	-155,680
修繕費	0	7,700	7,700
雑費	50,000	6,528	-43,472
光熱水費	70,000	74,817	4,817
リース費	300,000	276,310	-23,690
租税公課	21,000	21,000	0
寄付金支出	0	1,000,000	1,000,000
教育支援寄附金	200,000	0	-200,000
支部支援金	0	0	0
グッズ製作費	200,000	0	-200,000
広告宣伝費	0	66,000	66,000
支払報酬費	330,000	464,698	134,698
支出計	10,471,000	7,495,016	-2,975,984

2024(令和6)年度会計予算案

(単位：円)

科目	2023年度予算案	2024年度予算案	差異
収入の部			
終身会費取崩し繰入収入	9,379,800	8,956,000	-423,800
入会金	40,000	10,000	-30,000
集いの会費	0	200,000	200,000
受取利息	1,200	11,000	9,800
運営費収入	1,000,000	1,700,000	700,000
寄付金収入	50,000	0	-50,000
収入計	10,471,000	10,877,000	406,000
支出の部			
消耗品費	500,000	150,000	-350,000
給料手当費	1,600,000	1,500,000	-100,000
旅費	500,000	500,000	0
通信費	2,000,000	2,500,000	500,000
印刷費	2,500,000	2,000,000	-500,000
行事・集会費	2,000,000	2,500,000	500,000
交際慶弔費	200,000	200,000	0
雑費	50,000	50,000	0
光熱水費	70,000	90,000	20,000
リース費	300,000	300,000	0
支払報酬費	330,000	500,000	170,000
教育支援寄附金	200,000	0	-200,000
奨学金基金準備金	0	500,000	500,000
支部支援金	0	0	0
広告宣伝費	0	66,000	66,000
租税公課	21,000	21,000	0
グッズ製作費	200,000	0	-200,000
支出計	10,471,000	10,877,000	406,000

貸借対照表

令和6年3月31日

現金	405,613	終身会費	60,391,955
預金	63,392,691	預り金終身会費積立金	3,248,964
前払金	1,560	未払金	158,945
	63,799,864		74,525,654

上記令和5(2023)年度3月末決算及び貸借対照表の会計監査に関して帳簿・証憑書類等を監査いたしました。記載事項は事実に基づいており適正であることを認めます。

同窓会監査人 濱谷静枝
同窓会監査人 藤原敦子

注1) 修繕費は、三和印刷に依頼している同窓会ホームページの修正費用

注2) 雑費は、主に送金手数料

注3) リース費は、コピー機レンタル用・Wi-Fi利用料・三和印刷レンタルサーバー料

注4) 租税公課は、山口県の法人県民税均等割

注5) 寄付金支出は、2024年1月1日に発生した能登半島地震への寄付金

注6) 広告宣伝費は、三和印刷に依頼している同窓会ホームページの管理料

注7) 前払金は、2024年度経費の会場費 1,560円

未払金は、3月分給与手当 137,945円と県民税均等割 21,000円の合計額

第二期社員一覧 (2024年4月～2026年3月)

* 50音順

秋山 和代 (福岡県・大22日)
飯沼菜保美 (千葉県・高21)
石川美奈子 (山口県・高38・短23英)
磯谷 由美 (山口県・高25・大7英)
今道 裕美 (島根県・高42・短26日)
江原 千花 (山口県・高66)
大塚 篤子 (山口県・高3)
越智 咲子 (福岡県・高18)
柏原 直美 (山口県・高20)
片山 宣子 (山口県・高19・大1日)
木村 加代 (福岡県・高17)
桑野 陽子 (福岡県・高33)

齊藤 香子 (福岡県・高17)
笹倉せつ子 (山口県・高20)
柴田 稔 (山口県・大44英・院前40英)
杉野かおり (福岡県・高44・大26語)
武田 祐子 (福岡県・大15日)
谷崎 眞子 (福岡県・短17日)
遠山 博野 (福岡県・高16・短1英)
時山 響子 (東京都・中25)
徳海 愛子 (山口県・高25)
土肥 智子 (福岡県・高26・短11英)
中岡 恭子 (福岡県・高36)
中田 早苗 (神奈川県・高28)

中村 祥子 (山口県・大19日)
永見 昌代 (福岡県・大20日)
錦戸美佐子 (福岡県・高25)
橋谷真由美 (東京都・高45・大27語)
濱谷 静枝 (山口県・高10)
福田 信子 (兵庫県・高33)
藤原 敦子 (山口県・高25・大7日・院前2日)
森田美智子 (長崎県・大9日)
梁樹 泰運 (福岡県・大51文)
山下 雅子 (山口県・高14)
山本 顕子 (福岡県・大36日)
吉河 美江 (山口県・高35)

以上36名の社員により、役員10名と代表理事(会長)の選出が行われました。

- 代表理事(会長) / 中田早苗
- 副代表理事(副会長) / 藤原敦子・山下雅子
- 監事 / 越智咲子・濱谷静枝
- 理事 / 秋山和代・磯谷由美・今道裕美・江原千花・片山宣子

梅光メモリアルデー

今年も7月4日(木)に2024年度梅光メモリアルデーが開催されました。

当日お話いただいた中島共生牧師の説教を抜粋してご紹介します。全文は同窓会ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



「最期の言葉」

日本福音ルーテル下関・厚狭・宇部教会 中島 共生

みなさんは「最期の言葉」と聞いて、どちらをイメージされたでしょうか。つまり、みなさんが最期に遺す言葉か、あるいは最期に聞く言葉か。おそらく多くの方が「自分が最期に遺す言葉」をイメージしたのではないのでしょうか。下関に赴任して6年目。その間葬儀は23件ありました。その経験から3つのことをお話したいと思います。

1つ目は、遺影の写真は早めに選んでおいた方がいい、ということです。これは半分冗談で、半分は本当のことです。

2つ目は、みなさんが遺す「最期の言葉」についてです。認知症を患い施設に入っておられた教会員の方がおられました。自分の名前も、最愛の娘の顔も思い出せないという状況ながら、その方にはひとつだけ遺されていた言葉がありました。それは「主われを愛す」という讃美歌でした。

主われを愛す、主は強ければ、
われ弱くとも、恐れはあらず。
わが主イエス、わが主イエス、
わが主イエス、われを愛す。

昨年この方を見送り、「主われを愛す」を全員で賛美しました。私たちは最期の言葉を自分で用意することができないかも知れない。でも神さまは私たちに相応しい言葉を残してくださる、そう信頼してゆくことも大切なのではないのでしょうか。

3つ目は、私たちが「最期に聞く言葉」についてです。2020年、新型コロナウイルスの感染が爆発的に広がった頃、関野和寛という牧師がアメリカのコロナ病棟にチャプレンとして派遣されました。コロナ患者が家族に会えるのは死の数分前。関野牧師はその傍らに立ち続け、苦しみ抜いた末に6つの言葉が聞こえてきたと言います。『ありがとう』『ごめんね』『許すよ』『もう行っていいよ』『愛しているよ』『また会おう』。特別な言葉は何ひとつありません。どれも私たちがいつも耳にして、そして掛けている言葉です。死は特別な瞬間ですが、そこに立ち会うのは特別な人たちではありません。いつも見るあの顔がその場、その時を作るのです。

私たちは最期の日に掛けるべき言葉を、実はい

つも掛けることができるのです。いつが別れの日かは本当のところ分からないのです。今伝えることができる言葉は、今伝えたいはずです。本気の言葉は、何度伝えたい、その都度感動が伝わるからです。

今日選んだ聖書の箇所(ヨハネによる福音書16:25~33)はイエスさまの遺言です。十字架を目の前に、弟子たちは蜘蛛の子を散らすように逃げ、隠れてしまいました。イエスさまを置いて逃げ出し、隠れてしまった自分を、弟子たちは一生消えない十字架として背負ったはずです。そして自分の弱さを思い知る度に、この日の言葉が彼らの心を奮い立たせたはずです。

「あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。」これらの言葉は十字架による罪の赦し、そして復活の希望を意味しています。愛する者との別離をイエスさまは「悲しむな」とは言わないのです。しかし「勇気を出しなさい」と。聖書の語る「勇気」という言葉は、私たちが普段使う「勇気」とは少しニュアンスが異なります。これは、困難に立ち向かってゆく「勇敢」という言葉ではなく、いかなる状況にあっても「主が共にいてくださる、そのことを知っていなさい」という言葉です。

およそこれ以上ないと思える別離という悲しみの最中にも、主は共にいてくださるのです。それこそが、私たちが絶えず聞き、そして最後に聞いた言葉なのかも知れません。主が共にいてくださる。私と共に、みなさんと共に、そして天に逝きし先達と共に。

メモリアルデーは、神さまに拠って与えられた尊い命が確かにあったこと、そして天の御国で再び相まみえる希望が与えられていることを心に刻む一日です。最期にイエスさまの遺言、33節の言葉を聞いて本説教を結びたいと思います。

「これらのことを話したのは、あなたがたがわたしによって平和を得るためである。あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。」



一般社団法人 梅光学院同窓会
法人化記念講演会



2025 令和7年
2月16日

無料
全席自由

13:30開場 / 14:00開演 (16:00終演予定)

下関市民会館

大ホール 下関市竹崎町4丁目5-1

《主催》一般社団法人 梅光学院同窓会

任意団体として活動していた梅光学院同窓会は、2022(令和4)年11月1日より「一般社団法人 梅光学院同窓会」として新たな歩みを始めました。地域の皆さまに、梅光学院同窓会ならではの土質な学びと気付き、心の豊かさにつながる文化的な時間を届けたく、同窓会の法人化を記念した講演会を開催いたします。この機会に是非、日本の伝統芸能に触れてみませんか？



ほうしやう かずふさ
宝生 和英氏

PROFILE

1986年東京生まれ。父、第19世家宝生英照に師事。能「西王母」子方にて初舞台。2008年に宝生流第20代宗家を継承。披キ、一子相伝曲全てを修める。NHK大河ドラマ「篤姫」「天地人」に出演。第40回松尾芸能賞新人賞受賞。2023年ミラノ大学客員教授。2024年Disney+配信のドラマ「SHOGUN 将軍」では劇中能の監修・制作を行う。



『復活のキリスト』
ダイジェスト実演

三部
装束着付け実演

一部
宝生流第20代宗家
宝生 和英 講演
『伝統を未来へ繋ぐ』

特別協力 / 公益社団法人宝生会

お問い合わせ 一般社団法人 梅光学院同窓会 <https://baiko.net/>
〒750-8511 山口県下関市向洋町1-1-1 tel.083-227-1111(火・金 13:00-16:00)



2023年度運営費寄付者名

みなさまのご支援に心より感謝申し上げます。



(2023年4月1日～
2024年3月31日までの受付)

単位：千円

合計 1,867,670円

旧職	巻幡清子	1	高7	田中美代子(古野)	10	高20	松田美恵子(松田)	3
旧職	武原 弘	9	高7	三輪節子	3	高21	来見秀代(金嶋)	3
旧職	小山禎子	2	高7	行村君子(村岡)	3	高21	金沢寿栄子(富下)	3
旧職	中野節子	3	高7	八木君絵	6	高21	内田佐知恵(間下)	30
旧職	佐藤保子	5	高8	岡田静子(江島)	5	高21	飯沼菜保美(山村)	30
旧職	岩本康子	9	高8	高橋宏子	30	高22	橋本淑恵(木村)	3
旧職	中山 敦	3	高9	小園美智子(池田)	3	高23	中尾和子	3
旧職	白澤弘子	3	高9	安藤清子(菊谷)	3	高23	三由直美(中野)	3
旧職	岡野千代子	6	高9	松岡郁子(田原)	5	高24	谷崎詔子(池田)	3
旧職	平野 清	3	高9	森田公子(野間)	3	高24	村田小夜子(今橋)	6
旧職	力丸 晃	10	高10	大嶋多嘉子(岡田)	3	高26	砂田みどり(佐竹)	3
旧職	吉津成久	9	高10	望月貴美子(坂野)	3	高27	鈴木智子(柳井)	3
旧職	向尾千重子(樋口)	3	高10	三好久美代(中野)	9	高27	横田のぞみ(山中)	6
旧職	安富恵子	2	高10	田中美紗子(長尾)	3	高28	中川道子(塚本)	3
旧職	安富俊雄	12	高10	神原満子(波多野)	10	高28	中田早苗	10
旧職	名切元貴美子(城)	3	高10	濱谷静枝	5	高29	加藤喜久子(大田)	5
旧職	島田裕子	3	高10	津田敬子(宮崎)	9	高29	佐藤久美(林)	3
梅13	杉村みつ(杉村)【故】	300	高11	西田憲子(伊藤)	3	高29	大隅ゆかり(山田)	3
梅23	飯豊スミエ	39	高11	吉永英子(高橋)	10	高29	宮本まり子(山本)	3
梅28	下川辺郁子(緒方)	3	高11	堀内紀代子(立石)	3	高30	上垣内和子(松井)	5
梅28	三河内恒野(山田)【故】	3	高13	小畑京子(伊藤)	3	高30音	明田恵美(四方田)	3
梅31B	阿部敬子(富田)	3	高13	叶屋睦子(片村)	9	高31	貝本 幸(坪島)	9
梅32	前田朱美(函師)	15	高13	武内信恵(武内)	3	高32	岩男晶子(鍋島)	20
梅35	西井勢津子(網矢)	3	高13	赤城晴美(藤井)	9	高33	吉村純香(石井)	3
高1	伊藤幸子(播川)	6	高13	續木千加代(船津)	3	高33音	照屋 薫(原田)	3
高2	大社淑子(大社)	3	高13	横田伸子(堀越)	10	高34	鈴木理恵(増山)	3
高2	岡田佳津(原田)	3	高13	松本弘子	5	高35	西頭加織	3
高2	小須田玲子(藤津)	3	高13	家田京子(益田)	3	高36音	中岡恭子(内尾)	3
高3	大塚篤子(阿美谷)	5	高14	植田幸子(坂野)	3	高37	井上千絵子(佐藤)	1
高3	堀百合子(後藤)	3	高14	白須美砂子	20	高38	稲岡昭子(黒瀬)	3
高4	異儀田武子(異儀田)【故】	10	高14	瀬村初子	5	高41	櫻井敬子	3
高4	村上睦子(上田)	3	高14	尾崎貞子(中村)	5	高43	植田みどり(梶間)	6
高5	三代 緑(一色)	3	高14	岡崎郁子(西川)	3	高43	安田理恵(松本)	6
高5	小川和子(稲田)	3	高14	藤岡咲枝(藤岡)	5	高43音	高橋美絵(松岡)	3
高5	松井栄子(稲村)	3	高16	新納郁江(五島)	3	高51	倉田亜紀(法常)	3
高5	久木田紀子(久木田)	3	高16	秋山敏恵(寺岡)	3	高52	青木裕美	3
高5	平良美代(平良)	30	高16	大原恭子(長谷川)	6	高57	中村一姫	3
高6	豊田泰枝(岡本)	3	高17	田中展子(石田)	3	高57	松本由希	3
高6	塩原栄子(川崎)	3	高17	中村俊子(岡)	3	高67	山本仁子【故】	30
高6	正井満里子(坂川)	3	高17	木村加代(木村)	3	短英1	野村佐登美(郷)	6
高6	谷 洵子(沢)	9	高17	齊藤香子(堀越)	3	短英1	阪本和子	3
高6	東原美智子(藤井)	10	高18	森本トヨ子(岡村)	3	短英1	遠山博野(山下)	3
高6	山田真枝(宮崎)	10	高18	原田瑞枝(北野)	2	短英1	高橋みどり(力丸)	3
高6	志熊久明子(船木)	3	高18	中沢真知子(香津)	20	短日1	谷川百枝(山本)	3
高7	清水明美(石丸)	2	高18	越智咲子(堀越)	3	短日2	勝本智子(上野)	3
高7	得本圭子(磯部)	3	高19	植田澄子(植田)	10	短日2	畠中節子(中島)	10
高7	中野由己子(高橋)	13	高19	河崎百合子(坂本)	3	短英3	坂本敦子(吉野)	3
高7	原口ふさ(成田)	3	高19	松田ちづこ(山中)	10	短日3	松村和代(堀江)	10
高7	田中彰子(長谷川)	10	高20	笹倉せつ子(小幡)	17.12	短英4	福田裕子(中村)	9
高7	曾田邦子(馬場)	3	高20	安成百合子(竹田)	19	短英4	工藤和子(広重)	3



短英4	大野美加子(益森)	3
短日5	大西恵子	3
短日5	森川順子(平山)	15
短英6	手島千恵子	3
短日6	島田好子(古賀)	6
短英7	岡村美子(高塚)【故】	5
短日7	鵜原津裕子(田中)	3
短日7	木村節子(棕梨)	3
短英8	川端佳子(梅田)	6
短英10	藤本淑子(桐原)	3
短英11	古見邦子(末武)	6
短英12	森 玲子(吉井)	3
短日12	五輪喜久子	6
短日12	末次啓子(内田)	3
短日13	田中恵美子(田中)	3
短日14	徳田恵里子	3
短英15	秋岡幸子(篠田)	3
短日15	谷田ゆかり(長岡)	17
短日15	島崎千代子(古川)	3
短英17	有松直子(大山)	3
短英17	植木明子(岡村)	3
短英17	木村靖子(中野)	3
短日17	井本紀久子	10
短日18	小南敬子(津森)	6
短英20	井上悦子	3
短日22	平山るみ子(清水)	3
短日22	古谷かおり	6
短日25	本田美香(田原)	3
短日26	今道裕美	3
短日26	高橋直子(三原)	3
短日32	吉村真由美(岩田)	10
短コ4日	大澤宣子(高橋)	3
大1日	梅尾澄枝(秋本)	3
大1日	片山宣子(清川)	30
大1英	古本順子(阿部)	9
大1英	宝辺静子(久保)	3
大1英	徳永春子(楨本)	3
大2日	井上知子(林)	6
大2英	松井節子(山下)	3
大3日	田中幸子(田村)	3
大3英	内藤みゆき(白附)	3
大4日	志保みはる	3
大4英	中邑洋子(福田)	3
大4英	大寺和美(前田)	6
大5日	末武伸子(藤井)	10
大6日	平川典子(神峯)	3
大6英	郡司島節子(立岩)	3
大7日	栗原百代(田辺)	6
大7英	香月順子	50
大7英	磯谷由美(林)	10
大8日	中道順子(衛藤)	3
大9日	森田美智子(久原)	3
大9日	富田栄子(國米)	24
大9日	時岡範子(丹治)	3
大10日	江藤京子(伊藤)	9
大10日	若山邦美(櫻)	3

大11英	龍崎美香(龍崎)	15
大12英	赤瀬祐子	3
大13英	滝本あい子	6
大13英	矢野真理(山田)	3
大14日	相良桂子(尾畠)	3
大15日	中嶋まどか(二田水)	3
大15英	森元妙子(尾崎)	3
大16日	野見山百葉(末松)	3
大16日	植月明美(山下)	6
大16日	小川滋子(山本)	3
大16日	土河美枝子(吉本)	10
大18語	江後紀久子	3
大18語	河野行子(藤田)	3
大19語	畠中由紀(伊藤)	3
大20日	中田千尋(松島)	3
大22日	秋山和代(酒見)	9
大22日	坂口三佳子(広田)	3
大22語	久保和子(橋本)	3
大24英	藤村香子(岡井)	3
大24英	富田志保	3
大25日	永野実芳	3
大25語	篠崎亜紀子(越智)	3
大26語	杉野かおり(秋山)	3
大28日	大久保美帆	6
大40英	垣田幸代	3

大43日	岩田英子	3
院前英1	尾川公子(川原)	3
院前日2	澤田雅子(北村)	3
院前日2	藤原敦子(三浦)	26
院前英2	横山 東	3
院前日3	林田千恵子(篤)	3
院前英4	吉川比登美(吉永)	3
院前日10	澤山淑子	3
院前日10	中村睦美	3
院前日15	久保田智栄子(今井)	3
院後日3	米谷悦子	12
博士	野口有紀子(濱田)	3
博士日	鐘 俊梅	3
	トクトミ カズコ	1
	隣人の行方制作陣	21.15
	匿名	6.6
	匿名	10
	匿名	3.8
6月17日	第1回「会員の集い」時の寄付	58
	井関久江 井本紀久子	
	河崎百合子 北城戸朋子	
	志保みはる 高橋万季子	
	谷黒 睦 遠山博野	
	中園桂子 福田信子	
	宮本まり子	

卒業生総数

梅香崎	150	高・中	13,899
光 城	80	短 大	13,996
梅光(旧制)	2,413	大学・大学院	11,049
		計	41,587

2024年3月31日現在



2023年4月から2024年3月までの物故者名簿

(同窓会事務局にお知らせがあった方)

御霊のうえに、そしてご遺族のうえに神さまのお慰めがありますように。

旧職	黒田 緑	2021	高4	豊田篤子(石川)	2023.2
旧職(大22英)	野口喜美子	2023.9.12	高5	長田伊久枝(篠崎)	2023.10.23
旧職	角田義人	2024.1.6	高6	井川富美子(政本)	2023.2
梅13	杉村みつ	逝去日不明	高7	清水明美	2024.3
梅17	安永房子(竹島)	2008.11.29	高8	安田芙美子(関森)	2023.8.11
梅27	北森捨子(小山)	2023.5.1	高9	西村富久子(亀田)	2021.5
梅27	平山静子(西山)	2023.12	高10	杉山敏子(森重)	2023.9.3
梅28	矢野勝子(中村)	2023.4.19	高13	前田廣子(西島)	2023.2.3
梅29	笹田トシ子(清水)	2022	高14	原 雪子(山添)	2023.9.6
梅30	大房敦子(齊藤)	2023.8.12	高16	矢崎美夏子(清水)	2023.8.7
梅31B	鈴木和子(谷口)	2023.3.22	高21	海野麻美子(縄田)	2022.11.4
梅31B	大谷御代子(寺田)	2023.1.2	高21	内田佐知恵(間下)	2023.1.11
梅32	前田朱美(函師)	2023.5.30	短英7	岡村美子(高塚)	2023.2
梅32	山本靖子(木谷)	2023.12.12	短英12	中井寿美(古川)	2023.1.14
梅34	井上智恵子	2023.1	大7日	越智芽久美(森山)	2023.6.14
梅34	美間一枝(野久保)	2022.12.6	大7日	沼野淑子	2023.3
梅35	矢田慈子(加見)	2023.11.21	大17日	松下友子	2020
高2	福島芳江(御喜)	2022.12.27	大9日(高6)	山本仁子	2023.11.5
高4	異儀田武子	2023.2.2	中1	早川しづ子(森)	2023.3.22

2024年度 一般社団法人梅光学院同窓会 第2回「会員の集い」のご案内

今年度の「会員の集い」は、クリスマス礼拝と茶話会の形で開催します。
礼拝後は音楽を楽しむ企画を準備しています。乞うご期待！
みなさまのご参加をお待ちしております。

2024年12月1日(日)

場所／シーモールパレス エメラルドの間

●申し込み方法

会費／2,000円

同窓会誌に同封の振込用紙にて
お願いいたします。

受付／12:30～ 開会／13:30～

締め切り 11月15日(金)

※プログラムの詳細については追ってホームページにてご連絡いたします。

同窓会運営費寄付のお願い

いつも運営費寄付にご協力いただきありがとうございます。

現在、同窓会員の増加を図ることが難しく、会費徴収がかつてのようにはできません。卒業式当日に書面での呼びかけを続けていますが、入会希望者はごくわずかです。

同窓会は運営費寄付と会費収入で活動しています。値上がりのニュースが毎日のように続く昨今ですが、1000円からの寄付も受け付けています。同封の振込用紙で振り込みできます。また同封用紙なしでも随時ゆうちょ銀行からの振り込みもできます。

みなさまのご協力を心よりお願いいたします。

【お振込み先】

一般社団法人梅光学院同窓会
郵便局振替口座記号番号
01520-6-13100

2025年度 梅光メモリアルデーのご案内

日時／2025年7月4日(金)

午前10時より

場所／下関市生涯学習プラザ DREAM SHIP
2階「宙のホール」(多目的ホール)

みなさまのご参加をお待ちしております。

※平服で結構です。

編集後記

- ◆一般社団法人梅光学院同窓会誌第2号を発行いたします。第1号発行後、多くの会員のみなさまからご意見をいただきました。「写真が多く、カラーで読みやすい」「読み物が少なく物足りない」等々。そして、今回お届けした2号となりました。
- ◆すべての会員に同窓会のお知らせや活動報告を届けられるのは、現在のところ同窓会誌のみです。今後ともより充実した誌面づくりに努めてまいりますので、ご意見やご協力のほどよろしくお願いいたします。
- ◆ホームページで閲覧するので同窓会誌の郵送が不要の方は、メールにてお申し出ください。

2024(令和6)年9月20日発行
一般社団法人梅光学院同窓会
〒750-8511 下関市向洋町1-1-1
TEL. 083-227-1111
編集発行人 中田早苗
E-mail: info@baiko.net
印刷 株式会社三和印刷社
〒752-0927 下関市長府扇町9-1

同窓会事務局開室
毎週火・金
13:00~16:00



ホームページ
<https://baiko.net>